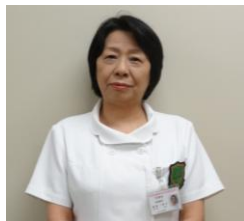


指導看護師誕生に向けて～福島副部長にインタビュー～

平成 21、22 年度の 2 か年にわたり文部科学省が公募した「看護師の人材育成システムの確立(看護職キャリアシステム構築プラン)」を申し込むために、本院の看護職のキャリアシステムについて良村教授とともに看護部が検討を重ねました。その結果、個々の看護師が将来設計のもと能力開発しながら専門職として自立することを目的にキャリアシステムプランが作成されました。そして、看護職キャリアシステムを実施する組織母体が編成され、その一部である指導看護師養成プログラムが指導看護師養成プログラム開発・評価部門により開発されました。そして、平成 23 年度からプログラムが実施され、平成 24 年度に指導看護師一期生が誕生するに至りました。指導看護師養成プログラムで求めたのは、論理的思考と指導力です。そのため、論理的思考と指導力の習熟度を上げるために、二段階プログラムとしました。事業(教育)を実施するに当たり、企画力(計画力)と指導力が問われます。特に企画力は、現状分析を適切に実施し、成果を見据えた論理的思考が必須であると考えます。今後指導看護師に期待することは、看護職個々のレベルに合わせて自ら成長できるよう自己研鑽していく力を育てていくことです。また、部署内教育の指導者として、部署の専門領域における看護の質を向上するために実践力の水準を上げることです。さらに、指導看護師間での相互支援により、指導看護師自身が能力を向上するとともに成果を得られていくことを期待したい。



福島副看護部長

指導看護師認定証授与式～一期生誕生～

平成 25 年 5 月 7 日に、指導看護師 1 期生 15 名の授与式が行われました。自己研鑽と相互支援で役割発揮に努めていきます。



平成 25 年度 看護部オリエンテーション～意見交換会

今年度、看護職員は 100 名以上入職しました(新卒看護職員は 70 名)。4 月 1 日に看護部長から辞令交付受けました。看護部オリエンテーションでは、中央部門の師長から大切にしている看護、「私のキャリアビジョン」では認定看護師の林師長、成瀬恭子さんから認定看護師になるまでのプロセスや看護への熱い思いを直に聞くことができました。今年度は



たな企画として、学生時代から抱いていた目指したい看護を忘れず、日々、看護を行っている実感を持ち続け 10 月の 1 年目研修に繋げてほしいという願いから、新人看護師のディスカッションの機会を設けました。4 月 3 日は「看護部オリエンテーションを受けて北大病院の看護について気づいたこと」、5 月 23 日は、2 年目の和田さん(11-1)、安部さん(10-2)から新人へのビデオレターを受け、「学生時代から大事にしたいこと」「先輩の看護を見て大事にしていると感じたこと」「この 1 か月でうれしかったこと」をグループワークで共有し発表しました。ビデオレターには、「今の自分とシンクロした。ひとつひとつ積み重ねていけばよいと思えた」と感想が聞かれました。日々の先輩の姿から学び、感性豊かに経験を語り合っていました。

平成 25 年度 新人看護職員技術研修・フリー研修室開始

今年度も、新人看護職員技術研修が開始となりました。安全に看護技術を実施するために「医療安全の確保」「患者及び家族への説明」「適切な看護技術の提供」ができるように、学んでいます。5 月から開始したフリー研修室では、多数の方が研修しています。今年度より医療情報端末の看護情報からもフリー研修室の予定が確認できます。



平成 25 年度 新卒者合同コミュニケーション研修

4 月 5 日に医師、歯科医師、薬剤師、検査技師の方たちと新人 200 名が一同に介しての合同研修が行われ、コミュニケーション、チーム医療、プロフェッショナルリズムについて学びました。グループワークでは、「もっとも印象に残っている事や最高に活き活きた瞬間」などを発表し合い、お互いの理解を深めていました。



書籍・DVD 紹介

購入書籍の紹介です。フィジカルアセスメントの学習のために、「病気がみえる」シリーズ 10 巻を揃えました。図書室に配置予定です。持ち出し禁止です。図書室でご利用ください。また「ME 機器の知識と技術」(低圧持続吸引器、輸液・シリンジポンプ)の DVD も購入しました。これはキャリア支援室から貸出可能です。

